

南 の 風 2 1 5

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

214号の続きです。桜花は8番佐古選手のスタッガードスクリーンからの3Pが決まるが、その後ミスが続き、点が伸びない。その隙に岐阜女子は、10番小野選手の活躍が光る。ゴール下シュートを皮切りに、連続フリースローの5点、そして残り10秒で7番ファター選手がピック&ダイブして、リフトした10番小野選手に合わせシュートが決まった。第2Q終了時、35対31桜花リードとなる。

第3Qに入る。岐阜女子は立ち上がり、4番石井選手が桜花の隙を突きオフェンスリバウンドのルーズボールを奪う。それに反応した、6番石坂選手の3Pがタイミングよく決まる。そしてディフェンスリバウンドに積極性が出た岐阜女子は、続けて6番石坂選手が3Pを叩き込み逆転する。桜花も負けじと、6番赤木選手が3Pを決め返す。ここで岐阜女子は10番小野選手が、ピック&スリップからのショットを沈める。バスケットカウントとなり、流れを掴む。桜花は4番ステファニー選手のレイバックショットで対抗し流れを渡さない。一進一退の展開となる。桜花がタイムアウトを取る。その後岐阜女子は2-1-2のゾーンを敷く。桜花はうまくアジャストして、オーバーロード（片方の地域をアウトナンバーにして攻める）から4番ステファニー選手がゴール下で得点する。直後8番佐古選手が右45°から3Pを決め逆転する。さらに7番栗津もゴール下をねじ込む。そして4番ステファニーのジャンプショットも決まり、差を広げに掛かる。岐阜女子は、ポストの7番ファター選手へのパスを遮断され、インサイドが使えずに苦しい時間帯となる。何とか打開したい岐阜女子は、ゴール下のパワープレイで7番ファター選手が得点すると、続けて4番石井選手がエンドライン沿いのドライブインを決め第3Qが終了する。51対46で桜花がリード。

第4Qが始まる。まず桜花の8番佐古選手のトップからのドライブインが決まる。さらに7番栗津選手に対するファウルの、フリースロー2本と4番ステファニー選手のペイントでのジャンプショットも決まり、この試合最大の11点差となる。何とかしたい岐阜女子は、10番小野選手が7番ファター選手へ絶妙の裏へのロブパスを通し食らい付く。桜花は6番赤木選手がすかさずペネトレイトから得点を加え流れを渡さない。岐阜女子7番ファター選手へのパスがアウトオブバウンズになったところで、桜花がタイムアウト。その後、岐阜女子は7番ファター選手にボールを集め得点を重ねる。そしてディフェンスリバウンドからのエントリーパスを受けた、6番石坂選手の3Pが決まり6点差とする。桜花も7番栗津選手がゴール下で踏ん張りショットを決める。8点差のところ岐阜女子がタイムアウト。再開後すぐに、岐阜女子6番石坂選手が、5番藤田選手のダウンスクリーンと7番ファター選手のスクリーンを使い（通称スタッガードスクリーン）この日4本目の3Pを見事に決め、5点差に詰める。桜花も慌てず4番ステファニー選手が0°からのショットを決め7点差に広げる。岐阜女子は7番ファター選手が、5番藤田選手とのピック&ダイブを決め再び5点差に戻す。さらに岐阜女子は、7番ファター選手をトップポジションに一旦出して、6番石坂選手の桜花4番ステファニー選手へのスクリーンを利用したダイブで得点する。3点差。桜花も4番ステファニー選手のチェンジオブディレクションドライブショットで点を入れ返す。5点差。残り時間2分27秒。クライマックスは次号とします。